

令和6年恵那市長選挙 立候補者アンケート

小坂 喬峰 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、恵那市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

NPO と行政が協働することで、個々では解決することが不可能な課題を改善、解決することが可能となり、サービスの質が向上することは認識しています。

また、災害時での対応などでも NPO による活動は注目され、その役割は非常に大きいことから、NPO との協働によるまちづくりには大きな期待を寄せています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

恵那市では「まちづくり市民活動補助金」など、NPO等への活動支援施策を行っております。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

恵那市協働のまちづくり指針によれば、「安らぎと活力のあるまちを築くには、市民と行政が協力・連携し、市民一人ひとりが実感する生活課題にこたえつつ、子育て・福祉・健康・医療・教育・環境・雇用・文化など、多くの市民に共通する公共的な課題の改善・解決を図り、より良い生活環境へと高めていくために、市民と行政は協働してまちづくりに取り組まなくてはなりません。」とあり、まちづくりのパートナーとなる NPO に対して求められるものは大きいことから、まちづくり市民活動補助金による支援のほか、組織の育成も積極的に行ってまいります。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「恵那市 協働のまちづくり指針」では、協働の担い手の役割が整理され、行政の役割では「環境の整備」に、まちづくり活動に対する支援体制や市民活動をサポートする活動拠点の整備など、協働環境の整備の大切さが書かれています。今後も恵那市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

恵那市協働のまちづくり指針によれば、「市民と行政が協働し、お互いが単独では不可能な社会的課題を改善、解決することにより、質の高い公共サービスが得られます。」とあることから、NPO 等との協働関係を構築・発展させる必要があると考えます。

市民と行政は水平なまちづくりのパートナーであるため、必要に応じて相互の役割の理解と目的の共有を図り、市民ニーズに沿ったまちづくりを進めてまいります。

ご協力ありがとうございました。